

平成30年度多治見市一般廃棄物処理実施計画の具体的施策の報告**重点的に取り組むごみ減量施策****（１）家庭ごみの分別収集の更なる推進**

家庭ごみの多くを占める紙類の分別啓発を強化します。また、ミックスペーパー（カーボン紙・アルミ等異物が付いた紙）の資源化に向け、調査研究を行います。

（２）ごみ処理料金体系の定期的な検討（排出者負担の公平性確保）

ごみの減量と再資源化（リサイクル）促進、排出者負担の公平性のため指定ごみ袋の料金や焼却場・処分場への持込み料金（事業ごみも含む）を社会状況等に応じて見直します。

⇒・平成 31 年 10 月の消費税率の上昇分と市全体での 4 年ごとの手数料の見直し

【参考】平成 29 年 4 月から 指定ごみ袋の料金 500 円から 510 円へ
持込み料金（事業系）200 円から 210 円へ

（３）事業所のごみ減量化策の検討と指導

ごみ減量計画の作成等、大規模事業所に対する指導を進めます。また、事業ごみ（食品廃棄物を含む）の減量策を検討します。

⇒・事業所のごみ持込みは、承認書が必須 7 月 2 日現在 1,071 件
(平成 29 年度 1,284 件)

・大量にごみを持込む事業所については、ごみ減量計画の作成を指示 1 件
(平成 29 年度 1 件)

⇒・市内の 8 事業所は、生ごみ（食品）だけを分別して排出して「たい肥化」
(平成 29 年度 214,616 kg)

（４）総合環境学習の展開（エコカレッジの実施）

小中高生を対象とした自然環境体験学習や一般を対象とした各分野の環境講座を実施します。

⇒・ジュニア・ユース（平成 30 年度から新設）・自然マイスターの 3 コースのエコカレッジを実施（配布リーフレット参照）

ジュニアコース（小 4～6）17 人（定員 20 人）

ユースコース（中高生）募集中（定員 20 人）【単発受講も可】

自然マイスターコース 15 人（定員 15 人）

（５）プラスチック容器包装類の再資源化（リサイクル）についての調査研究

プラスチック容器包装類の再資源化（リサイクル）について調査研究を行います。